



ゆたか福祉会キャラクター
ゆたかめくとみらいちゃん

障害者の ゆたかな未来をめざして



「つゆにさく花」
トライズ
柴田 真由美さん
※紹介が11ページに
あります。

CONTENTS

- ▶ 職員集会開催 P2～3
- ▶ 正規採用職員紹介 P4～6

2025年5月10日 毎月1回10日発行 一部200円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <https://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会

検索

4.5 今年度最初の職員集会を開催!

今回の職員集会は、32事業所から150名を超える職員が参加しました。会場は久しぶりに名古屋ポートビル講堂で開催しました。

ねらいとしては

* 4月から正規採用職員となった皆さんと「対面」でお会いし、歓迎する

* 第7期総合計画とその初年度としての2025年度事業計画の報告を聞く。また重点課題や特徴的なテーマについての報告から、ゆたか福祉会が取り組む多様な事業について知り、学び、共通認識をつくる

* これらの事業が、自らの事業所や分野とどのような関連があるのか、「我がごと」として捉え、見直しをもったスタートとしていく

の3点でした。以下、報告概要について紹介します。

第7期総合計画の報告



約1時間にわたり、3月の理事会・評議員会で策定された第7期総合計画について、その内容を全体で共有しました。

今回は、計画の検討過程で職員や関係者から寄せられた意見や問題意識を紹介しながら、これらがど

のように計画に反映されているかについて報告を行いました。また、今後5か年の推進ロードマップを作成していくことや、部門をまたぐ課題の推進体制について、さらに検討していくことなども報告しました。

総合計画の検討と並行して、スローガン「障害者のゆたかな未来をめざして」を見直すかどうか、一年間議論を続けてきました。

結論としてこのスローガンは、障害のある方々だけでなく、その家族、そして地域社会全体を視野に入れた私たちの実践と事業の方向性を示すものであるということ。創設の精神をあらためて確認し、当面はこのスローガンを継承していくことを共有しました。

総合計画検討委員会 山崎利浩

ベトナムからの人材受入れと フエ関係者との連携事業の推進 〜現在の状況報告と今後に向けた提案〜

ゆたか福祉会とフエ関係者との連携は、2019年 EnjoyableEnglish（以下EE）という非営利団体とのパートナーシップ協定の締結から始まっています。そして、フエ科学大学との連携により、福祉の専門職としての優秀な人材を育成し、フエや私たちの事業所で今後の事業を担っていく人材を生み出す仕組み（プログラム）を構築してきました。これまでに、4法人※で25名の方を受入れています。

集会ではこれまでの経過報告と、この4月に入国した3名から、自己紹介をしてもらいました。また、

次への新たな事業としては、EEによる
①職員や子ども向けの「英会話レッスン」や「ベトナム語レッスン」の実施
②1〜2年後を目標に、仲間（利用者）向けの「ベトナム観光旅行」の開催

があります。EEメンバーであり、1期生として働いている2名から提案をしました。集会後の感想では、期待する声も多数寄せられています。

私たちが目指している海外人材確保の取り組みは、人と人との繋がりや基盤とし、すべての関係者にとって価値のあるものであると確信しています。

法人本部 向久美子

※4法人＝ゆたか福祉会、愛光園、名古屋ライトハウス、コープあいち

福祉村・生活サポートセンター名倉の活動

設楽町から委託を受けている「生活支援コーディネーター」「成年後見制度中核機関」の実践を中心に、総合相談窓口の機能を持つつつある生活サポートセンター名倉の「これまで」と「これから」が報告されました。

障害・介護の相談にとどまらず、介護予防活動の立ち上げや、地域課題を考えるフォーラム運営参加などの実績が、設楽町からゆたか福祉会への委託に



新たな事業を提案するドゥックさん

繋がった事。「まざる」ことで地域と繋がり、ニーズや今ある知恵・宝に「ぎづく」事。不足する資源を「つくる」活動に取り組んでいる事。権利擁護支援センターの仕組みを整えることで相談が増え、虐待事例に迅速に対応できた事等が報告されました。

過疎化・超高齢化が進む中、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことをあきらめないため、課題に立ち向かう決意が語られました。

生活サポートセンター 名倉所長 宇都宮 朋子



緑区でのグループホームを中心とした複合施設整備計画について

名古屋市緑区平手に、強度行動障害と重度・高齢化した利用者を受け入れるための専用設備を備えたグループホーム2ユニットを整備します。あわせて大規模災害時に福祉避難所として活用できる多目的室を備えた複合施設として計画しています。

また、ゆたか希望の家相談支援事業所を移転し、障害相談支援とケアマネジャーの合同事業所を発足させ、高齢期を迎えた利用者へ垣根のない相談体制を構築していきます。

今回の新規事業計画では、障害があるからではな

く、障害があっても、強度行動障害があっても、地域の中でその人らしく生きられることが目標です。必要な支援と設備の検証を先駆的に取り組み、既存の事業所の実践や環境整備にも反映していきます。また、面的整備型の地域生活支援拠点のイメージに基づいた事業所間連携と、機能分化に活かしていきたいと考えています。

希望の家所長 倉地 伸頭

SDGsの取り組み



「世界の平均気温上昇を産業革命前から1.5度に抑えること」が世界の目標ですが、世界各地で頻発する山火事、豪雨・洪水・嵐などの異常気象、干ばつ、北極圏の解氷による海面上昇や島の水没など、既に様々な影響が出ています。

このような中で、SDGs達成期限2030年をめざすゆたかの目標を、次の3つに絞ったこと。具体的な取り組みと合わせて、一企業としても個人としても、「できることをみんなで頑張ろう」と呼びかけられました。

- ① 障害者も高齢者も子供もジェンダーも、差別のないみんなが住み続けられる社会・街づくりをめざします。
- ② 地球環境を守るため、リサイクル関連事業はじめこれまでやってきたことを大切に発展させ、さらにできる事を積み重ねます。
- ③ 戦争のない平和な世界、命が大切にされる社会をめざします。

ベトナムとの人材交流など国際交流でも、ゆたか福祉会のSDGsの目標達成においても、パートナーシップを大切にすすめます。

SDGs委員会 熊谷 由美子

6年ぶりに歓迎会を開催

コロナ禍で途絶えていた歓迎会を、同会場レストランで開催しました。対象は2023年度以降の入職者。当日は管理者等も含め50名が参加しました。

歓談後、会場では「ゆたか福祉会とうたごえく広報誌から見るホカホカコンサートの歴史」と題したしおりが配られ、ゆたか作業所吉田所長から、当時の熱い想いを語っていただきました。そして歌はもちろん、「仲間たちキラキラ」と「おくりもの」。つゆはし作業所職員合唱団の元気なリードで歌も手話も絶好調！楽しいひと時を過ごしました。

後日、この日に浜島康弘氏が急逝されたことを知りました。しおりには、先生にお寄せ頂いた「50年に想う」の文章もありました。仲間たちに「浜ちゃん！」と呼ばれて、嬉しそうなお顔が浮かびます。

「くちびるには歌を！心には太陽を！」が相言葉だったゆたか作業所設立当時。あれから半世紀が過ぎ、時代は変われど、歴史を繋ぎ、歌を繋いでいきたいと思えます。

研修部長 向 幸子

\\ 2025年度 /

正規採用職員紹介

ゆたか作業所 水野 有彩

☺ 料理

以前はドラッグストアに勤めていました。「調理や献立作成業務に携わりたい」と思い、転職先を探していたところ、ゆたか福祉会と出会いました。給食を提供するだけでなく、利用者の就労支援に携わることができることに興味を持ち、志望しました。

福祉、調理ともに、未経験で分からないことばかりですが、福祉の現場で働く職員として学んでいこうと思います。よろしくお願いします。



今年度は新規学卒者をはじめ、様々な「出会い」の中で16名の皆さんが、正規採用職員としてゆたか福祉会の事業を支えていただくことになりました。16名という入職者数は2017年度にエリア採用制度がスタートしてから3番目に多い人数です。

年齢も経験も職種も様々な皆さんが、これから共に学んでいきます。先輩職員の私たちは、皆さんの「初心」に自らの姿を重ねつつ、一緒に働いていきましょう。

☺ 趣味・好きなことをお聞きしました

ゆたか希望の家 金丸 ののか

☺ 和太鼓 推し活

ゆたか福祉会は、実習を行う際に出会いました。施設内装や職員のなかまとの関わり方から「とてもあたたかいな」と感じました。「私もそんなあたたかいところで働きたい」と思い、入職を決めました。

なので私は支援者として、自分もなかまも「その人らしく」過ごすことのできるあたたかい空間づくりや支援を行います。私も早くなかまになれるように、一所懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



なるみ作業所 村瀬 幸

☺ スポーツ、料理、映画鑑賞

以前は高齢者のグループホームや、就労移行支援事業所で勤務をしていました。

結婚を機に「地元で働きたい」と考え、2021年の11月からなるみ作業所で勤務しております。そして今年度より正規採用職員になりました。

作業所では仲間や職員が毎日笑顔で過ごしているところに、魅力とやりがいを感じています。これからも仲間・ご家族・職員等、皆さんと協力し、仲間一人ひとりの主体性と社会性の尊重を大切に、安心して生活ができるような支援をしてきたいと思えます。



ゆたか希望の家 山本 拓磨

☺ ゲーム、食べること

エージェントさんの紹介で、ゆたか福祉会を知りました。2日間の実習を通して職員さんと仲間の皆さんの温かさに魅力を感じました。また「食を通じて仲間の皆さんの健康と笑顔を支えたい」と思い、栄養士としてこの仕事を選びました。

これから、栄養バランスの良い食事を提供し、皆さんの生活を豊かにするお手伝いをしたいと考えています。一人ひとりに寄り添い、安心して美味しい食事をお届けできるよう、日々努力して精一杯頑張ります。



ゆたか希望の家 佐藤 心優

☺ 野球観戦、旅行

大学の先生の紹介でゆたか福祉会を知りました。なかまの個性に合わせた関わりをされている様子や、共に作業をする「なかま」であるという価値観に触れ、このような場の一員になりたいと思いました。

なかまの小さな変化や笑顔に目を向け、相手を思いやる心を忘れず、1人1人と向き合い続けていきたいです。なかまや職員同士の関係を大切にしながら、なかまのみなさんがその人らしく生きるための力になれるよう努力し続けるとともに、楽しみながら働きたいと思っています。





おめでとうございます！これからよろしくお願ひします！

ゆたか生活支援事業所みなみ

小島 祥暉



☺ 食事、睡眠、ゲーム

私は3年前にゆたか福祉会を退職し、工場勤務を経て、今年度ゆたか福祉会に再入職しました。ゆたか福祉会在職時はおよそ7年間、作業所で日中支援をしてきましたが、初めてホームに配属となりました。

作業所の日中支援とホームの生活支援の内容は大きく異なり、しばらくはそのギャップに不安と困惑を感じる事となるでしょう。離職のブランクと初のホーム職員で至らぬことも多いですが、よろしくお願ひします。

ふれあい共同作業所 **唐澤 遼**



☺ 弾き語り、街をブラブラすること

常勤パートとして2023年4月から、つゆはし作業所で働き始めました。今年度から正規職員として配属となり、改めて身の引き締まる思いです。

なかまたちと過ごしていく中で、楽しいことやうれしいこと、反対に大変なことなど、様々かと思いますが、私たちの毎日がより良くなっていくよう学びを深めていきます。

今後もご指導のほどよろしくお願ひいたします。

ゆたか生活支援事業所なるお

小川 花音



☺ ゲーム、寝ること

大学4年生時に、新卒向けの就活アプリを使用して、ゆたか福祉会を知りました。

利用者の方を仲間と呼ぶことに新鮮さを感じ「一度、インターンに参加してみたい」と思い参加してみたところ、職員、仲間の方々が明るく温かく、「私も仲間として過ごす一員になりたい」と考えるようになりました。

「仲間を一方的に支える」と捉えて働くのではなく、まずは仲間のことをよく知り、学び、仲間と支え合いながら仲間の思いに寄り添うことの出来る職員になりたいと考えています。

ゆたか生活支援事業所なかかわ

笹谷 果凛



☺ コンサート鑑賞、野球観戦

私は、大学入学当初「福祉に関わる仕事がしたい」という大まかな目標しかありませんでした。しかし、大学での学びを深めていく中で、障害を持つ人の労働について興味を持ち、「それを支えていきたい」と思い、ゆたか福祉会に入職しました。

支援には正解がないからこそ、「どんな支援がいいのか、いつまでも考えることができる」と私は思っています。これから仲間たちとの連携も大切しながら、自分も福祉の人間として成長していきたいと思ひます。

みらいろ **小塚 千愛**



☺ ライブ、旅行に行くこと、寝ること

社会福祉士の実習でゆたか福祉会と出会いました。仲間たちが楽しそうに働いている姿、職員の方の寄り添い方や仲間たちの個性を生かした支援をしているところに惹かれ「入職したい」と思いました。

仲間たちが安心して過ごせる環境作りができるよう、そして仲間たちと同じ目線に立ち様々な感情や経験を共有し、支え合える関係性になりたいです。

一人一人の思いを尊重し、寄り添いながら、共に成長していける支援者を目指します。

ゆたか生活支援事業所あつた

岡 夏希



☺ 音楽を聴くこと、寝ること

私は福祉業界が集まる説明会で、ゆたか福祉会を知りました。2日間の体験実習を通して、施設の雰囲気や職員の方の仲間のみなさんへのかかわり方に温かさを感じ、「入職したい」と強く思いました。

仲間がその人らしい生活を送ることができるように、寄り添った支援を目指していきたいです。また、ひとりひとりを尊重しながら仲間が感じていることを理解できるよう、仲間とのかかわりを大切にしていきたいです。

ライフサポートゆたか

栗阪 さとみ



☺ 美術鑑賞、MLB とバレーボールのテレビ観戦

初任者研修を受講し、ヘルパー登録をしたことがきっかけで仲間たちと出会えました。

ヘルパー業務は10年間、「名古屋市強度行動障害者支援事業」の業務は、今年度から2年目に入ります。直接仲間とふれあう機会は減りましたが、今の職場がゆたか作業所の2階なので、仲間の笑顔と笑い声を身近に感じることができ、幸せをもらっています。

これからも頑張る仲間達が幸せを感じる事ができるように、尽力していきたいと思っています。

みらいろ **望月 彩衣**



☺ 湘南乃風のライブに行く事、ソフトボール

入社をして1か月が過ぎようとしています。不安だらけだった私にも、今では担当の仲間が出来ました。仲間の笑顔を見たり、少しでも会話ができるとすごく嬉しいです。「自分には何ができるのか」「笑顔が増えるのか」考えてばかりです。

私はゆたか福祉会に就職して、「本当に良かった」と思っています。ゆたか福祉会で出会った全ての方々には本当に感謝をしています。これから全力で仲間たちと向き合っていきますので、よろしくお願いたします。

キラリンとーが **恩田 葉子**



☺ 寝ること、ドラマ鑑賞、ゲーム

名古屋から移住をして5年が経ちました。以前に勤めていた「福祉の仕事をしたい」と思い探していた時に、ゆたか福祉会に出会いました。

パート職員として昨年の9月より楽しく働かせて頂き、4月から正規職員になりました。仲間から学ぶことも多く、周りの職員さんにも助けてもらいながら、充実した日々を過ごしています。

それぞれの仲間が安心して、楽しく過ごしていけるように、常に「何が仲間にとって1番良いのか」を考えながら、仕事をしてきたいです。

ライフサポートゆたか

畑 直美



☺ エアリアルヨガ

私の長男は知的障害で福祉サービスを利用し、皆さんに支えられ日々の生活を送っています。私自身も「障害者のサポートをしたい」と思い、障害者福祉の仕事を始めました。子供から高齢者の支援を経験し、2021年12月よりライフサポートゆたかで訪問介護員としてパート勤務をしています。

今年度よりエリア正規職員となります。初心を忘れず、これまでの経験を活かして温かい支援ができるように努力していきたいと思います。

**おめでとうございます！
これからよろしくお願いたします！**



ケアサポート宝南 **佐野 葵**



☺ バレーボール、ジムに通う、好きな音楽を聴きながらドライブ

学生の頃、父の療養中に看護師さんの優しいお声掛けで、心が穏やかになり、父との最期の時を過ごすことができました。その時、「私も人の為に何かしたい」と思い、福祉の道に進む事を決めました。

思いを大切に、望まれる暮らしや、住み慣れた地域で少しでも安心してお過ごしいただけるよう、より良い支援に努めたいと思います。そしてこれからも、学ぶ気持ちを忘れずに、目標をもって日々取り組んでまいります。

新所長紹介



ふれあい共同作業所 **大石 雅生**

「所長代行」という形で、2024年11月から業務にあたらせていただいております。現在は職員の皆さま、ご家族及び関係各所の皆さま、そしてなかまの皆さまにも日々支えていただきながら毎日をご過ごしております。

今後は、事業所として新たな環境の変化もありますが、管理職として求められる知識やマナーを身につけていくと共に、ふれあい共同作業所のこれまで積み重ねてきた歴史や想い、カラーも大切に継承していくことができるよう、精進していきたいと思っております。



ゆたか生活支援事業所みなみ **木村 美紀**

私が入職した年以降に誕生された職員さんや、経験豊富な人生の先輩職員さんの皆さんに支えられながら、毎日にぎやかに楽しく支援にあたっています。

一人ひとりの人生に深く関わるこの仕事は、何年働いても毎日が新しい発見の連続です。なかまの皆さんからたくさんの栄養をもらい、新しい職員集団で日々邁進中。所長を拝命し、改めて責任の重大さに身が引き締まります。共に成長しあえる事業所を目指して、より広い視野を持ち、真摯に取り組んで参ります。



生活サポートセンター名倉 **宇都宮 朋子**

ゆたか福祉会にある3つの入所施設の支援を経験したのち、2023年生活サポートセンター名倉の一員となりました。それぞれの経験と信念をリスペクトしあう集団に支えられ、新たな世界に飛び込めたことは幸せだったと思います。

今回、所長という任を受ける事となり、ゆたか福祉会や事業所の役割を思うとプレッシャーも感じますが、胸を借りつつ、でもそれに甘えず、できる事を精一杯頑張っていく所存です。

新副所長紹介



ゆたか生活支援事業所みなみ
小林 みのり

ゆたかに入職して7年が経ちました。振り返ると仲間やご家族、職員の方々に本当にたくさん支えていただいた7年間だったと感じています。

今年度、副所長という役割をいただき「自分に務まるのか…」という不安もありますが、これからは支えていく側になれるように自分にできることを日々考え、行動していきたいと思っております。

今までの先輩方が作りあげてきた「事業所みなみ」を大切にしながら、これからの「事業所みなみ」を盛り上げていけたらと思っております！



ゆたか生活支援事業所なるお
山本 真弥

入職して15年が経ち、ゆたか作業所・グループハウスなぐら・グループホーム宝南の家・事業所なるおで働いてきました。事業所なるおでは主任として5年、なかまと関わってきました。

4月からは副所長として、いろいろな事業所で働いてきた中で培ってきた経験や、関わってきた方たちとの関係を、今まで以上に活かしていきたいと思っております。“事業所なるお”がなかまにとって生活しやすい空間にしていけるよう、努力していけたらと思っております。

暮らしの中に彩りを

3/19

水

ゆたか希望の家 「仲間1人1人が主役に」

毎年、年度末に「生活労働発表会」を開催しています。この行事は仲間が1年取り組んできたことを発表し、労う機会として行っています。昨年と今年はコロナ禍が落ち着いた事もあり、仲間のご家族もご招待しての会となりました。

日中活動班が4班ある中で、午前・午後と2班ずつで分かれ、それぞれ発表と表彰状渡しを行いました。発表内容も班それぞれに特色が見られました。取り組んできた作業を実演したり、カラオケ機器を使用して歌を披露したりと、仲間1人1人が主役となって発表を行うことができました。

毎年取り組んでいるイベントですが、コロナ禍が落ち着いた事で、以前のような賑わいのある会になったと思います。今後も、仲間がキラキラとした姿で発表できるように、日々の支援を行っていきます。

山内 佑太



3/28

金

リサイクル港作業所 「接戦の自治会役員選挙」

3月28日、「リサイクル港の会」の役員選挙が行われました。2名が選挙管理委員に立候補し、6名の立候補者の選挙活動を進めました。

まずはポスターの作成。「笑顔の多い作業所に」「いじめのない作業所に」等、公約を書いたポスターが出来上がりました。3月24日の立会演説会で公約を述べ、事前に集めた質問の回答をした仲間たちは、実に堂々としていました。

選挙管理委員会の担当職員として意識したのは、全員参加です。最近入った方たちへ丁寧に説明し、選挙管理委員の役割や予定を掲示し、全体に示しました。立候補者の「明るく笑顔の多い作業所にしたい」という思いが共通した役員選挙となりました。

投票は6名から1名を選び、1票差で大接戦の末、上位3名が当選。任期は2年、今から活躍が楽しみです。

林田 和子



投票者を支援する選挙管理委員

接戦を制した新役員

3/28

金

つゆはし作業所 仲間の会 総会&がんばり発表会開催

～あっぱれ! なかまの晴れ舞台!～

毎年3月の最終金曜日に行われる「仲間の会総会&がんばり発表会」は、一日を使って開催される、仲間たちにとってはとても意味のある大切な行事です。

「総会」では、自治会活動の1年間をふりかえり、なかまのめざすもの(自治会の理念)を再確認し、年間行事を写真と共にふりかえります。パワーポイントを使って、視覚効果を用いながら自治会メンバーが進めます。「仲間みんなにわかりやすい」という形で、なかまも職員も共に理解を深めています。

「がんばり発表会」では、「1年間頑張ったこと」について、一人ひとりに賞状を作成します。全員の前で読み上げ、仲間たちの相互理解となるような時間を設けています。

賞状と記念品を受け取った仲間の表情は、嬉しさと共にどこか誇らしげです。こういった優しく温かい時間を、今後も続けていきたいと思っています。

服部 麻由奈



司会を務める4役さんは真剣そのもの! パソコン操作も慣れてきました♪

お二人とも、とても良い笑顔です♪1年間、本当にお疲れ様でした!

3/16

日

つゆはし作業所 あいちアールブリュットで2名が表彰!

3月16日(日)、「あいちアールブリュット表彰式」が行われました。

安保明美さんと永田一雄さんが表彰され、企業のグッズに採用されました。

おめでとうございます!



3/15・16

土日

なるみ作業所 創作レク作品展&春のコンサート

コロナ禍の行動制限が緩和された2023年より、新たな取り組みとして「創作レクリエーション」を隔月で開催しています。

自由参加ですが、毎回ほぼ全員がそれぞれのペースで参加しています。終了時間まで熱心に取り組む方もいらっしゃいます。テーマは平面作品を中心に立体作品も取り入れ、毎回工夫を凝らして提案。生み出される作品はどれも個性豊かで、生き生きとした表現が光ります。2年で300点を超える作品が集まりました。



これらの作品を振り返るとともに、外部の方にもご覧いただく機会として、今年3月に初の「創作レク作品展」を開催しました。会場は食堂棟2階の壁面を全面的に使い、作品を一堂に展示しました。さらに文化的な広がりをもたせるべく、外部から管楽器オーケストラを招き、「春のコンサート」も同時開催。演奏の合間にはドラムや管楽器、ピアノに触れる「楽器体験コーナー」も設けられ、参加者にとって音楽に親しむ貴重なひとときとなりました。ご家族の来場もあり、普段とは一味違った文化にふれる、温かく豊かな時間となりました。

昌山 登世史

初めての

子ども食堂開催!!



3/22(土)、地域生活支援拠点事業所ま〜ぶるで、子ども食堂(以下ま〜ぶる食堂)が開催されました。ま〜ぶる食堂は、地域の人々のつながりづくりや子どもや障害者とのコミュニケーションを図ることを目的としています。

第1回目はカレーライス(チャンピオンカレー)、マカロニサラダ、ゼリーを提供させて頂きました。他にも寄付で頂いたお菓子でお菓子釣りをしたり、折り紙で遊んだり、食べる以外にも楽しんでもらえるような工夫を行いました。

ま〜ぶる食堂に来てくださった方からは、「美味しかったよ!」や「楽しかった!」との声を聞くことができました。また、今回多くのボランティアさんにもご協力頂きました。ボランティアとして参加してくださった地域の方、他事業所の職員さん、ありがとうございました。

ボランティアのみなさんから「楽しかった!」「また参加したい!」との声を聞くことができ、とても嬉しく思います。

今回、ま〜ぶる食堂を1から作っていく上で、たくさんの困難がありました。「どうしたら楽しんでもらえるのか」「多くの人に知ってもらえるのか」と不安もありました。終わってみれば、意見を出し合いながら試行錯誤し、自分たちも楽しみながら創ってこられたことは、とても良い経験と学びになりました。

今後もま〜ぶる食堂は継続して開催します。最初に示した目的が、今後のま〜ぶる食堂を通して実現できるよう、より多くの方に知ってもらえるよう頑張っていきたいと思えます。

太田実里

TOPICS!

11事業所が参加し 日中支援事業所「活動体験・相談会」 を開催しました!!



3月8日(土)、ゆたか作業所を会場として「活動体験・相談会」を行いました。

事前に特別支援学校や、放課後デイサービスを利用されている方々にお知らせし、当日は生徒さん13名、ご家族14名、職員さん3名、合わせて30名の皆さんが来場されました。

給食の試食や「ご家族トーク企画」、自主製品コーナーを設置し、リサイクル部門の作業体験や活動体験ブース等を回っていただきました。また、動画での事業所紹介の視聴や、作業で使用する道具や部材に触れたり、ポッチャにもご参加いただきました。小麦粉粘土では感触を楽しんだり、思い思いの形を

作ってみたりと楽しむことができました。盛りだくさんの企画でした。

来場者からは、「楽しく体験できました」「保護者の方からのお話が聞けて、とても貴重な時間でした」「実際に作業体験が出来たことで、働くイメージが湧きました。できると子どもも嬉しそうでした」「自分の子どもに向いている事と、向いてない事が分かり、どんなことが出来るのか把握できました」などの感想が寄せられました。

皆さんと交流ができ、私たち職員にとっても良い出会いの場となりました。今後に繋げていきたいと思えます。

リサイクルみなみ作業所
大野 歌織



きょうされん

請願署名・募金活動 街頭宣伝 〜思いや願いを知ってもらおうきっかけとして〜

3月27日(木)14時から15時の時間で、第48回国会請願署名・募金活動を、金山駅南口付近にて行いました。当日は、今にも雨が降り出しそうな曇り空で、人通りも少ない日でした。あいにくの天気でしたが、7事業所の仲間と職員、30名ほどが集まり、声をあげて取り組むことができました。

数は多くなかったかもしれませんが、足を止めてご署名いただいた学生の方や、お仕事の移動中を通りかかって、募金をしてくださった方など、幅広い世代の方に署名や募金のご協力をいただきました。

その中で特に印象に残ったのは、職員の説明ではなく、仲間の目をしっかりとみて、最後まで話を傾け、真摯

に対応してくださった方でした。

直接的なやり取りを通して、障害のある人たちの思いや願い、障害者福祉の実態を知ってもらおう機会となることは、「街頭活動の良さだ」と改めて感じるようになりました。

全国で集められた国会請願署名は、5月29日(木)国会議員会館で、きょうされん会員事業所の仲間や職員から直接、国会議員や秘書に手渡されます。数や結果も重要ですが、多くの人に障害のある人や障害者福祉の実態を知ってもらい、関心を示してもらえようように継続的な活動が大切だと思います。

ライフサポートゆたか
早勢 滋



寄付のお礼

愛知中小企業家同友会様

愛知中小企業家同友会、名古屋第3支部南地区のみなさんからご寄付をいただきました！

年末の懇親会のなかで、恒例のチャリティーオークションが開催され、その収益をゆたか福祉会へご寄付いただきました。

ゆたか福祉会は、中小企業家同友会の支援を受けて成り立った経過があります。南地区の会員のみなさんは、今もこうしてゆたか福祉会を気かけ、応援してくださっています。

寄付額は67,500円でした。心から感謝申し上げます。

ワークセンターフレンズ星崎 山崎 利浩

一般寄附(1月)

宗教法人明拝教会

賛助会員新規加入者更新者(芳名一覧)

(1月6日～4月17日 手続き分)

西尾 明	太田 成誓	渡邊 紘三
梶田 まゆみ	野田 茂明	鈴木 智
水谷 暎子	森 信代	川上 啓子
渡辺 善之	渡邊 麻衣子	丸山 了治
渡辺 きよし	石崎 満	星野 信子
松本 齒科	ブロン電機(株)	順不同 敬称略

表紙の作者紹介



「つゆにさく花」

リサイクル港 柴田 真由美さん

柴田さんは、普段からいろいろな取り組みに参加する事が好きで、現在はホームの絵画教室に参加されています。今回の表紙絵は、その絵画教室で取り组まれました。

今回「あじさい」を描くきっかけとなったのは、ホームの近くを歩いている時に、きれいなあじさいが咲いていたのを思い出したので、「描いてみよう」と思ったそうです。また、描いている中で「色合いを考えながら描くのがとても難しかった」とおっしゃっていました。

梅雨の時期は雨が続き、憂鬱の季節と思われがちですが、この絵はそんな梅雨の時期でも「楽しいよ!」と感じる事ができる作品に仕上がっています。今後の絵画教室では、ケーキ「モンブラン」の絵に挑戦するそうです。

広報・508号

2025年5月号(2025年5月10日発行)

定価1部200円

法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会

印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協会の会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協会の会費 = 年間1口6,000円、
賛助会員(個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884
・あいち銀行 鳴海中央支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会



3月

日誌

- 1日(土) 消費税裁判を支援する!! 3.1集会
- 6日(木) 権利擁護虐待防止会議
- 10日(月) 事業運営推進会議
- 11日(火) 初任研修/保護者連合会定例会
- 12日(水) 法人安全衛生委員会/作業改善ゼミ
- 14日(金) 初任研修
- 18日(火) 初任研修
- 19日(水) 所長会議
- 21日(金) 権利擁護虐待防止委員会
- 22日(土) 理事会/懲罰委員会
- 24日(月) 援助担当者会議/研修部会議
- 25日(火) 広報・ホームページ編集委員会
- 26日(水) 副所長会議
- 27日(木) 春を呼ぶゆたか福祉会がんばるデー
- 29日(土) 評議員会

その人らしく働く暮らし

Vol.125

仲間



「お元気？」とみんなを気遣うさゆりさん！
 「これから始まるホーム生活も「お元気に!!」
 みのり共同作業所 八木さゆりさん

さゆりさんは、作業所が昭和48年に開所した当時のメンバーです。あれから52年、

さゆりさんは、2階の「えがお・ひだまり班」で、毎日椅子にちよこんと座りながら、「お元気？」と声をかけ、みんなを明るく優しい気持ちで包んでくれます。

仕事は、銅線の剥離作業を中心に、自分のペースで取り組まれています。2日に1回ある納品日には、「(納品)やろっかな？」と言ってくださいます。さゆりさんには少し難しい作業ですが、その気持ちが高く、手伝っていただいています。

また、喫茶やカラオケが大好きです。土曜開所のレクの時間には、最近お気に入りの津吹ゆみの♪「郡上



足湯でほっこり

しぐれて」♪を身振り、手振り付きで熱唱されています。しかし、さすがのさゆりさんも69歳。「疲れたー」「腰が痛いのー」等の言葉が増えてきています。ゆつたりとした日課の検討が必要になってきているように思います。

これまでは2歳上のお姉さまと、ご自宅で生活をされていたさゆりさん。この春からは「ホームみのり」で新生活がスタートしました。気心の知れた仲間たちと共に、作業所同様、生活を「お元気に！」楽しんでもらえたらと思います。

職員



「役職に対する自覚と責任感」
 リサイクル港作業所 河村聡

入職して13年目となりました。これまでみのり共同作業所で9年、ト

ライズで1年、そして現在、リサイクル港作業所で3年目を迎えました。リサイクル港作業所では、副所長兼サービス管理責任者の役割を担い、日々利用者のケースワークを中心に奮闘しています。

リサイクル事業は、障がい福祉の側面と委託事業としての就労の側面があり、その点、多くの学びや発見があります。

元々、私は大学卒業後、一般企業に営業職として就職しました。しかし、働いていく中で、会社の営利のためではなく、「純粹に誰かのために働きたい」という気持ちをいつしか抱くようになりました。そして思い切って大学時代に学んだ福祉の道に進む決意をし、縁あってゆたか福祉会と出会うことができました。

これまで働いてきた12年間は、紆余曲折しながらも、自分自身を成



周囲に支えられながら

長させてくれたかけがえのない時間だと感じています。しかし、まだまだ経験不足なことも多く、周囲に支えられながら歩んでいる最中です。

現在、働いている中で特に大切にしているのは、利用者、職員との「コミュニケーション」はもちろんのこと、業務に関わるスケジュール管理と共有です。私の立場として利用者また職員のニーズや要望を聞き取り、それを実現していく必要があります。

掲げられた目標に対し、どういったテンポで進めていくか等、作業所一丸となって成長を促すことに力を注いでいきたいです。今後、業務に対する奥深さを感じながら、切磋琢磨していきたいと思っています。